社說

一切反對

目下我國の最重要問題は外交と軍事とに外ならず行政改革の如き比較し來れば些末事にして重きを置くに足らざれども外交なり軍事なり大に力を注で充分の目的を達せんとするに先だつものは金にして即ち財政の最も急なる所以なり財政と云へば歳計增稅の問題にして聞く所に據れば政府の計畫は酒稅は從來の稅率七圓を十二圓に增し其他は砂糖、烟草、所得稅、宅地稅等の新稅を課し若しくは增稅を行ひ歳入を塡補するの考にして夫れにても尚ほ不足の掛念あるにや昨今更に營業稅を增さんとするなどの說もあるよし營業の新稅にも[illegible]たる如く砂糖稅以下の稅目は孰れも苦情を免かれざる其上に實際の收入も高の知れたるものゝみにして斷じて適當の稅源と認むるを得ず僅々三千何百萬圓の不足を補ふに斯る細々の稅源を漁りて遂に營業稅とまで墮落とは窮餘の窮策とは申しながら堂々たる大政府の手段としては餘りに情なき次第なりと云ふ可し或は國中の稅目をいよ〳〵取り盡して最早や大に取る可きものなしとあれば其窮策も致方なけれども實際は決して然らず大に取り得べきものを取らず擇びて細々の稅目を求めて之に取らんとするは何事ぞや斯る姑息の手段は斷然〳〵斷念して一番大に取る可きものなり我輩の所見を以てすれば今の酒稅の稅率を二倍若しくは其以上にするときは三千何百萬圓の不足の如き之を補ふて綽々餘裕あり政府は何を憚かりて其增率の決斷を斷ずる能はざるや或は七圓を增して十五圓又は二十圓と爲すが如き急激の變化は行ふ可らざるなど云はんかなれども抑も急激とは何事ぞや我國の歳出を見れば日清戰爭前までは七八千萬圓のものが戰後俄に膨脹して二億何千萬圓に上るに及べり一躍三倍の增加にして急激と云へば急激と云はざるを得ず或は其一億何千萬圓の中には軍備擴張、戰時費の支出も少なからざれども其國費は果して一時の必要に止まるものなりやと云ふに今後の政府と爲すれば軍備その他の經營に關し次第に歳出の增加を致して今の歳計は既に經常費に屬せざるを得ず[illegible]

一體の國用者に關するものなるが故に稅制整理の點、宜しきを得るに於ては或る程度までは之を增して差支ある可らず而して其程度の問題に至りて重しと云ひ輕しと云ひ其輕重を云々するは單に机上の空論のみ凡そ人民に稅を課するは藥病患者に藥劑を服せしむるが如し譬へばキニーネの用法の如き老功の醫者ならんには身體の强弱に應じ患者の反應を起さゞるを度として最初より極量を用ひ一擧目的を達すれども庸醫の業は然らず只管反應を恐れ細々分量を增して適當の量に達する迄に再三再四之れを試み其間に時日を經過し可惜藥效を空うするもの[illegible]

[illegible]

市街宅地稅

[illegible]

○藩閥政府（二十六）

鹿鳴館の夜會

[illegible]

○列國海軍增加の[illegible]

[illegible]